

# 尾三地区自治体間連携について

愛知県日進市企画部企画政策課  
平成30年11月12日





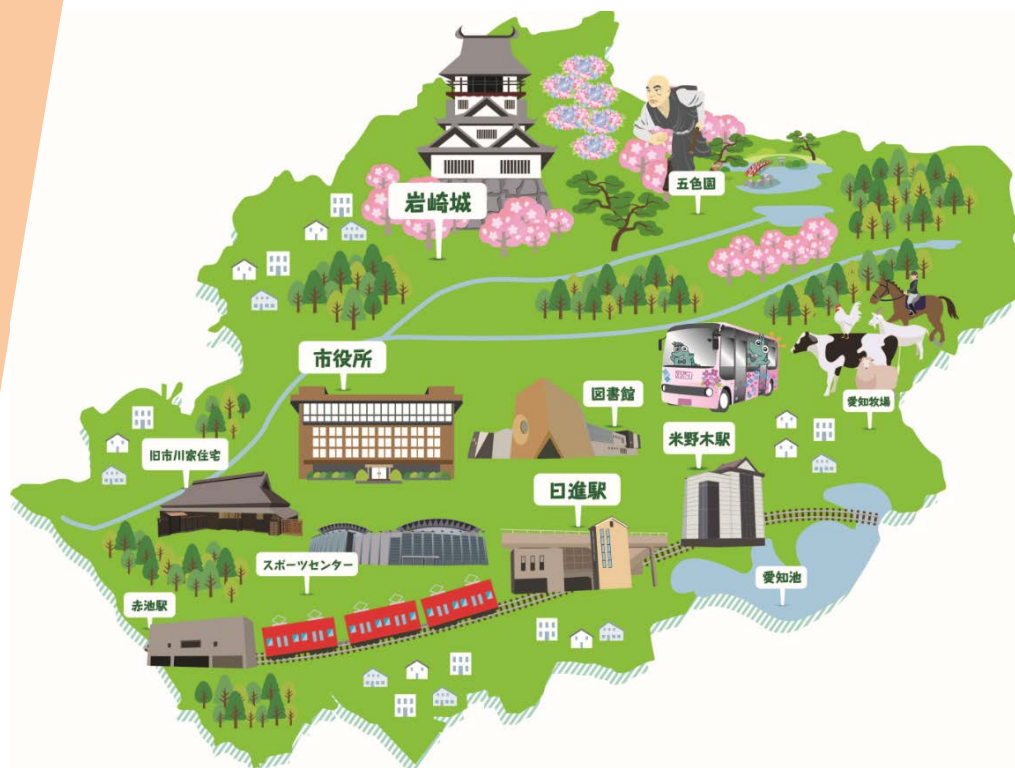
# 目次

---

- 1 はじめに
- 2 基本協定の締結
- 3 基本協定に基づく主な成果
- 4 推進体制
- 5 これまでの取組経緯
- 6 おわりに

# 1 はじめに（日進市のご紹介）

いつまでも暮らしやすい  
みどりの住環境都市

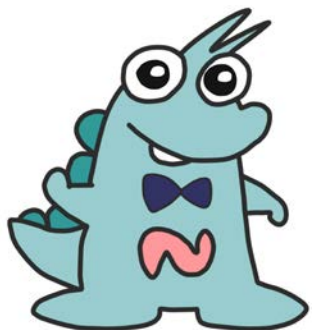


日進市は、愛知県のほぼ中央部である尾張と三河の境に位置し、西は名古屋東部、東は豊田市に隣接しています。

居住・就労にあたって恵まれた環境があることを背景に、土地区画整理事業等を進め、市街地の整備等に力をいれてきたことにより、2060年まで人口増加が続くことが予想されています。

また、東部には緑豊かな丘陵地があり、そこを源流とする天白川の流域には田園風景が広がり、古くからの街道の歴史とともに、四季折々の自然の美しさを感じさせてくれます。

さらに、市内には5大学が立地し、「日々進みゆく」の名にふさわしく、学園都市の顔を持つ大都市近郊のまちとして発展してきました。



日進市  
マスコットキャラクター  
ニッシー

» 面積 34.91 km<sup>2</sup>  
» 人口 90,418人 (H30.10.1現在)  
» 世帯数 36,610世帯 (H30.10.1現在)



# 1 はじめに（日進市のご紹介）



岩崎城址公園（岩崎城・岩崎城歴史記念館）

岩崎城は、室町時代の平山城であり、享禄年間（1528～1531）に築城されたと言われます。小牧・長久手の戦い（1584）で、300余命が討ち死にし、落城の悲運に遭いました。昭和62年に展望塔が建てられ、岩崎城の資料を始め日進市の歴史文化を展示した歴史記念館があります。



五色園

敷地20万坪の広大な宗教公園です。園内には、親鸞成人の生涯を再現した塑像があります。「五色園」とは、待つ、竹、梅、桜、紅葉の5種類の樹木にちなんでつけられたもので、その名のとおり四季折々の自然が楽しめます。園内には宿泊施設もあり、研修や合宿などに利用されています。



# 1 はじめに（日進市のご紹介）



レトロでんしゃ館

名古屋市内を走っていた市電と、昭和32年の名古屋市営地下鉄の開業時に走っていた地下鉄車両や台車が展示され、車内に入って見学することができます。そのほかにも、地下鉄の運転をゲーム感覚で体験できる地下鉄運転シミュレーター、地下鉄などの歴史が学べる資料検索コーナー、市電の歴史などを紹介する展示コーナーがあります。



愛知牧場

愛知池近くに広がる大牧草地。どうぶつ広場や乗馬などで動物と触れ合えます。牧場内で作られている牛乳、ソフトクリームとともに、バーベキューも楽しめます。

# 1 はじめに（尾三地区のご紹介）



自治体名	面積 (km <sup>2</sup> )	総人口 (人)
日進市	34.91	90,418
みよし市	32.19	61,254
東郷町	18.03	43,653
豊明市	23.22	68,706
長久手市	21.55	58,110

※平成30年10月1日現在



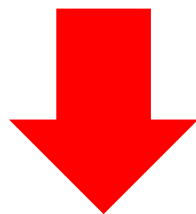
愛知県

尾三地区自治体間連携  
(4市1町)

# 1 はじめに

## なぜ今、広域連携が必要か

市の持つ経営資源（人・物・金・情報）は限られており、全てのニーズに応えるフルセットの行政サービスの提供や他市町村との過剰な都市間競争に陥ることにより、行政経営が疲弊することは避けなければならない。



- ◆平成24年2月  
第1回日進市議会定例会における市長施政方針

「私ども基礎自治体が今、問われているのは、『競争』ではなく『**連携**』」

「自治体間の連携協力について、協議や取り組みを進めたい」